

韓国農林畜産食品部プレスリリース (2018年11月7日 14:11)

## 済州道済州市野鳥糞便より H7 型鳥インフルエンザ(AI) 抗原検出

出店 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QEB8JTJGYmJzJTJGbnWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODc3MkUyRmFydGNsVmlldy5kbyUzRmJic0NsU2VxJTNEJT12cmdzRW5kZGVtdHIIM0QIMjZiYnNPcGVuV3JkU2VxJTNEJT12cmdzQmduZGVtdHIIM0QIMjZwYXNzd29yZCUzRCUyNnNyY2hDb2x1bW4IM0QIMjZyb3cIM0QxMCUyNmIzVmIld01pbmUIM0RmYWxzZSUyNnBhZ2UIM0QxJT12c3JjaFdyZCUzRCUyNg%3D%3D>

(機械翻訳に基づく仮訳)

□ 農林畜産食品部(長官:イゲホ)は 10 月 30 日済州道済州市旧左邑(くじゃうふ)下道里(はどり)で採取した野鳥糞便に対する農林畜産検疫本部における検査の結果、11 月 6 日 H7N7 型 AI 抗原が検出されたと明らかにした。

○これにより農林畜産食品部は、AI 緊急行動指針(SOP)により抗原が検出された地点を中心に、

- ①半径 10km の地域を「野生鳥獣類予察地域」に設定
- ②地域内の家きん及び愛玩鳥等の予察・検査、移動制御および消毒
- ③渡り鳥の飛来地と小河川などの近くの農家の防疫強化
- ④当該自治体にとって広域噴霧器など防疫車両を総動員して、毎日消毒を行うなど防疫措置を講じた。

※高病原性の有無など最終判定には 1~2 日所要予定

韓国農林畜産食品部プレスリリース (2018年11月8日16:07)

## 済州道済州市野鳥糞便の精密検査の結果、低病原性鳥インフルエンザ(AI)に 確定

出店 URL :

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbWFmcmEIMkY2OCUyRjMxODc4NiUyRmFydGNsVmllidy5kbyUzRg%3D%3D>

(機械翻訳に基づく仮訳)

□ 農林畜産食品部(長官:イゲホ)は、10月30日済州道(ちえじゅどう)済州市(ちえじゅし)旧左邑(くじゃうぷ)下道里(はどり)で採取した野生鳥類糞便の精密検査の結果、11月7日低病原性AI(H7N7型)に確定したと発表した。

○農林畜産食品部は、低病原性AIの確定により該当地域に設置された防疫策を解除した。しかし、冬の渡り鳥が到来し、野生鳥類でAI抗原が持続検出されていることから、家きん農家は防疫規則を徹底的に遵守の徹底を求めている。